

# 新型コロナワクチン 接種の お知らせ

接種費用  
**無料**  
(全額公費)



## 接種希望者は申し込みを

乳幼児(生後6か月～4歳)の人も新型コロナワクチンの接種を受けられるようになりました。

ワクチン接種は**強制ではありません**。感染症予防と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、保護者の意思に基づいて接種をご判断ください。

なお、邑楽町では、接種を希望する人の申し込みを受け付けます。**申し込みをした人に接種券を発行します。**

## ワクチン接種までの流れ

### ① 本通知や説明書(裏面QRコード)などをよく読み、接種を受けるかどうか決める

※お子様に基礎疾患がある場合など、ワクチン接種について疑問や不安があるときは、かかりつけ医にご相談ください。

#### 接種を希望する場合

### ② 接種の申し込みをする

#### ▶ 申込期限 令和4年11月18日(金)午後5時

※3回目接種を令和5年3月末までに完了する必要があります。接種を希望する、または検討している場合は早めにご連絡ください。

#### ▶ 申込方法 町コールセンターへ電話する ☎ 0276-47-5033

### ③ 接種日程の調整

3回分セットの予約になります。なお、接種予約枠の空き状況によっては、すぐにご案内ができない場合があります。

### ④ 接種券を受け取る

原則、接種日前までに、保健センターへ受け取りに来ていただきます。

### ⑤ 保護者同伴で接種を受ける

【持ち物】接種券 母子健康手帳  
本人確認書類(健康保険証など)

## 接種の対象と使用するワクチン・接種間隔

◎**対象** 生後6か月～4歳のお子様

◎**使用ワクチン** ファイザー社製の乳幼児用ワクチン

◎**回数・間隔** 通常、3週間の間隔をおいて2回、その後8週間以上の間隔をおいて1回接種の合計3回



## 新型コロナワクチンの効果

生後6か月～4歳の乳幼児に対して、ワクチンの効果や安全性を確かめる研究(臨床試験)が海外の複数の国々で行われました。新型コロナワクチンの接種を受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなる効果

(発症予防効果)がどれくらいあるかについて、約1,100人程度の乳幼児を対象に分析したところ、3回目接種後7日以降の効果は73.2%と報告されています。

※出典:「審査報告書」より

## 他のワクチンとの接種間隔

新型コロナワクチンは、インフルエンザワクチンとの同時接種が可能です。インフルエンザワクチン以外のワクチンは、**2週間以上あけて接種すること**になります。乳幼児期は、定期予防接種

の多い時期ですので、接種間隔については、ご注意ください。詳しくは、かかりつけ医にご相談いただきながら、計画的な接種をご検討ください。

## 保護者の同意と同伴が必要

お子様がワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について正しい知識を持った上で、保護者の意

思に基づいてワクチン接種をご判断ください。保護者の同意なくワクチン接種が行われることはありません。

## よくあるご質問

### ● 新型コロナワクチンの安全性について

#### Q.生後6か月～4歳の子どもが新型コロナワクチンを接種した後は、どんな症状が出ますか？

A. ワクチンを接種した後の症状について調べた臨床試験で、1～3回目の接種後の具体的な症状をみると、接種回数ごとの症状にあまり変わりがなく、ほとんどの症状が軽度または中等度でした。現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められません。

<接種後7日間に現れた症状>

年齢	症状(発現割合: 1回目接種後→2回目接種後→3回目接種後)			
生後6か月～1歳	易刺激性(*1)	51.2%→47.4%→43.6%	発熱	7.2%→7.4%→6.8%
	食欲減退	22.2%→22.2%→20.2%	腫脹(*3)	3.9%→3.9%→2.7%
	傾眠状態(*2)	27.0%→23.8%→19.9%	発赤	10.6%→9.3%→7.1%
	圧痛	16.6%→15.0%→16.0%		
2歳～4歳	疼痛(*4)	30.8%→31.0%→26.7%	腫脹(*3)	3.7%→5.7%→3.1%
	疲労	29.7%→25.7%→24.5%	嘔吐	3.0%→3.4%→1.6%
	発赤	8.8%→11.4%→10.9%	悪寒	2.3%→3.0%→3.3%
	下痢	7.7%→6.7%→5.1%	筋肉痛	2.4%→2.6%→2.0%
	発熱	5.2%→4.9%→5.1%	関節痛	0.8%→1.4%→1.3%
	頭痛	4.5%→4.6%→4.9%		

(\*1)機嫌が悪い

(\*2)眠たくなる様子

(\*3)注射部位の腫れ

(\*4)ずきずきうずくような痛み

※出典:「審査報告書」より

### ● 接種するワクチンの種類について

#### Q.生後6か月から4歳の子どもにも、オミクロン株対応ワクチンは接種できますか？

A. 現時点では、生後6か月～4歳の乳幼児用のオミクロン株対応ワクチンは、日本で薬事承認されていないため接種することはできません。しかし、従来型のワクチンによる初回接種(3回セットの接種)によって、オミクロン株流行下で70%以上の発症予防効果が確認されています。

#### Q.合計3回の接種の途中で誕生日を迎えて5歳になった場合、5～11歳用のワクチンを打つべきですか？

A. お子様が、3回の接種の途中で5歳になった場合も、3回目までは同じ「乳幼児用ワクチン」を接種することになります。

### ● 予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすることができないことから、予防接種法に基づく救済制度(医療費、障害年金等の給付)が設けられています。救済制度について詳しく知りたい方は、厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」の「Q 副反応による健康被害が起きた場合の補償はどうなっていますか。」をご覧ください。

新型コロナワクチンQ&A



### ● 生後6か月～4歳のお子様の新型コロナワクチン接種について

生後6か月～4歳用のワクチンがオミクロン株流行下でも有効であるとの最新情報を踏まえ、お子様にワクチンを接種いただけるよう、ご本人とその保護者に努めていただくことになりました。これには協力いただきたいという趣旨によるものであり、接種を強制するものではありません。詳しくは厚生労働省ホームページに掲載の情報をご覧ください。

予防接種についての説明書  
(生後6か月～4歳)

ワクチン接種のお知らせ  
(生後6か月～4歳)

